

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(133)、(166)」

2. 日時：令和5年1月18日（水）13時40分～15時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、松末技術参与、馬場係員、杉野統括技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員
中川原子力土建部長 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<昨年12月13日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はいそれでは時間になりましたので浜岡原子力発電所プレート型地震の津波評価について、コメント回答のヒアリングを始めます。
0:00:14	資料としては12月13日付で、コメント回答、あとは、それを反映した本編資料と、あと補足説明資料は、それに関連しつつ修正した部分ですね、この3点をいただいています。で、
0:00:28	説明の方は、
0:00:31	今回これ11月の終わり、12月の頭に本来介護かけようかと予定していたんですけども、少しコメント回答部分というよりも、コメント回答がどの分、全体のどの部分に該当するのかと。
0:00:43	いうところがわかりにくいということで、少し資料の方を見直してもらっております。なので中身としてサブとして追加された部分ですね、少し計算を足した部分が一部あるかと思っておりますので、
0:00:57	その点を簡単にご説明いただいて、あとはこちらから質問するというような形で、概ね1時間、今日をですね予定しております。
0:01:08	まず説明の方を中部電力の方からお願いします。
0:01:14	はい。中部電力天野でございます。ヒアリング設定ありがとうございました。12月13日に提出している資料のうち、新たに計算加えた部分、
0:01:24	についてご説明をさせていただきたいと思っております。説明は5分程度になります。よろしくお願いいたします。
0:01:32	中部電力の加藤です。
0:01:34	浜岡原子力発電所基準津波策定のうち、プレート間地震の津波評価について、コメント回答資料に関しまして、事前にご連絡いただきましたNo. 1コメント回答の土木学会モデルと、
0:01:46	検討波源モデルCとの比較に関する変更部分について説明いたします。
0:01:51	35ページをお願いします。
0:02:03	35ページは、土木学会モデルと検討波源モデルCの設定方法の比較ページになります。
0:02:09	左が土木学会モデル、右が検討波源モデルCの設定方法ですが、赤字で記載している箇所が、両方で設定が異なるところになります。
0:02:19	ここで左の土木学会モデルにつきまして、これまで滑り域が東にある東側モデルを掲載していましたが、今回滑り益が基準のモデル同士を比較することとしまして、
0:02:30	紀伊半島沖から四国沖に押す力がある基本断層モデルに変更しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	次の 36 ページと 37 ページには、
0:02:39	それぞれ土木学会モデルと検討波源モデル C の滑り量分布の設定手順に関して、
0:02:45	地震モーメントの変化分の調整方法の考え方を示しています。
0:02:50	次の 38 ページは、土木学会モデルと検討波源モデル C の滑り量分布の比較を示していますが、
0:02:57	こちら土木学会モデルは、東側モデルから基本断層モデルに変更しています。
0:03:03	39 ページは、検討波源モデル C の滑り域位置の根拠として、今回追加したページになります。
0:03:11	これまでの資料でもお示ししているものですが、
0:03:14	左側に示す段階トラフ広域の痕跡再現モデルの滑り域、
0:03:19	南海トラフ広域の津波痕跡高を再現するため、
0:03:23	東海地域段階地域の震源域が同時に破壊した、昨日最大の本地震の津波を再現するモデルにおいて、大きく滑った領域を踏まえ、
0:03:32	東海地域では、遠州灘沖から紀伊半島沖に、南海地域では室戸岬沖から日向野沖に設定しています。
0:03:40	検討波源モデル C の滑り域は南海トラフ広域の痕跡再現モデルに基づき、トラフ軸付近の浅部断層を含めた領域に設定しました。
0:03:50	40 ページは、土木学会モデルと検討波源モデル C の津波高の分布の比較になります。
0:03:58	おろせる力の位置が異なる土木学会モデル、検討波源モデル C の津波高の分布について、南海トラフ広域の津波痕跡との関係を相田の指標 k κ により確認しました。
0:04:09	その結果、M9 クラスの両モデルは、ともに南海トラフの M8 クラスの既往地震の津波痕跡高に対して計算水位が平均的に大きく、
0:04:20	形は 1 よりも小さくなっています。
0:04:23	一方で、土木学会モデル。
0:04:25	テルモ段階トラフの津波痕跡の採用モデルを踏まえて、競り市を配置した検討波源モデル C の方が痕跡高等に対する計算水の空間分布のばらつきを示す k が小さく、
0:04:38	南海トラフ広域の痕跡高に対して計算水位の空間分布の妥当性が高いことから、モリ南海トラフ広域の津波特性を考慮した、滑り域の配置となっていることを確認しました。
0:04:51	なお左下の注釈の通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:54	土木学会モデルの東側モデルと西側モデルの津波高の分布につきましても、補足説明資料 5 の 4 章に掲載しています。
0:05:02	補足資料の 216 ページをお願いします。
0:05:22	補足説明資料 216 ページですが、先ほどコメント回答資料の 40 ページでもお示ししました、僕学会モデルと検討波源モデル C の津波高の分布の比較になりまして、
0:05:33	土木学会モデルについては基本断層モデルに加え、東側モデルと西側モデルの結果も掲載しています。
0:05:40	比較の結果は左下の表の通りになります。
0:05:44	先ほど同様に、M9 クラスのモデルですので、どのモデルも径が 1 よりも小さくなっております。
0:05:50	一方で、南海トラフの津波痕跡の再現モデルを踏まえて、滑り域を配置した検討波源モデル C の方が、本好きだカトウに対する計算水位の空間分布のばらつきを示す κ が小さく、
0:06:03	検討波源モデル C の方が、南海トラフ広域の痕跡高に対して計算水の空間分布の妥当性が高いことから、
0:06:11	整理段階トラフ広域の津波特性を考慮した滑り域の位置となっていることを確認しました。
0:06:17	あと変更箇所の説明は以上になりますが、その他記載の統一ですとか軽微な経営記載の適正化等を実施してございます。
0:06:25	説明は以上になります。
0:06:30	はい。説明ありがとうございます。ちょっと先にあれですかね説明をいただいたコメント回答の 35 ページ以降と、補足説明資料の 216 ページこの辺りのところで確認をしていきたいと思います。
0:06:45	ちょっと滑り量とか滑り分布のこの 38 とか 3736 のちょっとこの辺りの、
0:06:55	あまり細かいところを改めては、どこがどう変わったっていうところは、特に確認しませんけども、40 ページが一応もう、そちらとして最後、この土木学会のモデルの
0:07:07	基本断層モデルと検討モデル C との比較で、何かを言いたいページだと思うんですけど。
0:07:14	経営は 1 よりも小さいこれはある意味、M8 クラスのものとの比較なんで、これはごくごく当たり前の話だと思うんですけど、
0:07:23	一応
0:07:24	左下のところで、カッターのほうですよ。これ一、その

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:30	痕跡高再現モデルの説明の時には、これ遠州灘と
0:07:35	広域のものですけど、カップーの方って一応再現性の妥当性の範囲って いう範囲っていかね 1 キャパ 1.45 以下だったかな。
0:07:47	一応そのある程度目安があって、それよりも下回る範囲でなので、再現 性はいいんですという何か説明があったような気がするんですけど。
0:07:57	ちょっと今回単純に
0:08:00	土木学会の基本断層モデル等その検討のモデルシートの、なんていうか 比較、数字の大小だけでちょっと書いてあるんですが、
0:08:10	こちらとしてはその大小関係で言いたいのか、検討波源モデル C 一応 M 8 クラスの再現性のものを M9 クラスに、拡大して、
0:08:20	はいるんですけど、
0:08:22	一応それでもなお再現性という意味で 1.45 を下回ってる。
0:08:27	ことを言いたいのか、いやそこはもう無視して、とにかく土木学会との 比、基本断層モデルとの大カップーの大小関係で、土木学会の方もです ね、これ、
0:08:39	基本断層モデルと東と西と三つに分けていて一つで再現性が良いものを お示してるわけではないので、そういうものに比べて、経営検討波源モ デル C というのは一つである程度、
0:08:51	それよりもいいモデルを作りましたということなのか、ちょっとこの辺 りはどうなんですかねそちらの考えはいかがなのかというところをお聞 きした上で、
0:09:02	もし資料に修正した方がわかりやすいのであれば修正した、書き出すと かですれ修正した方がいいかなと思ってるんですけど。
0:09:14	はい、中部電力のモリですか。
0:09:17	今鈴木さんがおっしゃられたその 1.45 より小さいという点と、
0:09:23	土木学会よりも κ が小さいという、いずれもの視点からかなというふう には思っております。
0:09:30	で、先ほど鈴木さんおっしゃられた通りで経営は M9 クラスのモデルな ので、当然小さいと。
0:09:38	カップーについては、空間分布の妥当性をたま保ったまま大きくなって るのはどっちかという意味で、
0:09:46	再現性指標の 1.45 と比べることもできるかなということで、
0:09:52	前回 11 月のヒアリングの時には、
0:09:56	κ の再現性の目安ということで、1.45 というのはこのところにちょっ と書かせていただいたんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:05	規制庁さんの中のその議論の中で、
0:10:09	銅だけ 1.45 が書いてあると。
0:10:12	系の方はそもそも小さくて再現性が悪いじゃないかというような議論もあったというふうにご指摘いただいていたところまで一旦決めているという経緯がございますただ、杉尾先ほどおっしゃられた通り、答弁M9 クラスだからということもあって、
0:10:28	上の箱書きにもかなりそのあたりを書かさせていただいたので、誤解を招かないということ。
0:10:33	かなというふうに思いますので、
0:10:37	計の目安だけをですね、銅の目安だけここに書かさせていただくということは
0:10:43	資料のわかりやすさの観点から変えてもいいかなというふうに思っております。以上です。
0:10:50	はい。一応今回も K と κ 後銅の方にハッチングをかけて、この日比較、
0:10:58	が重要なんですっていうところは、書いてあるので、
0:11:02	今おっしゃったようなですね趣旨で、一応ある種、銅で再現性の目安を見てるんであれば、そこは再現性の目安を満足しているんだというのわかるように書いた方がよろしいかなと思います間野。
0:11:16	中身としては前回もヒアリングで聞いてますし、今回もその差分ということで聞いているので、中身はちょっと理解してるんですけど、
0:11:23	パッと見て、
0:11:25	単なる数字比較の大小関係なのかなというふうに見えてしまうので、そこ緯度が違うのであれば、少し工夫された方がよろしいかなと思います。
0:11:39	で、一応補足説明資料の方は 216 ページで、
0:11:43	ちょっと東モデル西モデルも見ましたが、結局、広域という意味での再編成であれば、土木学会の中では基本断層モデル、
0:11:55	が一番括弧も小さい島これと比較する形で、コメント回答の資料にコンパクトにまとめるには三つ全部書くそうですねかなり冗長になるので、
0:12:06	トカイの大東がモデルと比較するよりは、基本断層モデルと比較するっていう、今の資料構成の方が、説明としてはわかりやすいかなというふうに思いました。
0:12:17	他は今回足してきた部分ですねこの辺りで確認をすることがある方はおられますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:40	規制庁サービスですけども、追加というか変更も含めて、ちょっとその1点だけ確認なんですけど。
0:12:48	35 ページで、
0:12:51	今日ご説明ありましたけど、
0:12:54	左のところを、今まで東側だったのを基本断層モデルに変えたというところもあるんですが、
0:13:02	やっぱりですね、結局、どこが違うのっていうのは、赤字で書かれているっていう話ですけど、結局、
0:13:11	一番大きいのは、その再現性をやっぱり重視するために、
0:13:18	土木学会だと、要はこの滑り域とかが、1ヶ所しか配置されてないんですけど、御社は、2ヶ所に、
0:13:27	配置してるっていう部分じゃないのかなとは思うんですけど、今何かそういう形で見えなくて、むしろ言うとその、
0:13:35	真ん中の一番下のその矢印のところに一応滑り域等の位置は、痕跡再現モデルを踏まえ設定ってありますけど、これって、内閣府 2012 との比較でも同じように、
0:13:47	書かれていて、何かちょっとですね、意味合いが若干こうニュアンスっていうのですかね。
0:13:53	内閣府 2012 とはちょっと違うかなと思うんですけど、内閣の中に等の、
0:14:00	比較。
0:14:01	では、
0:14:03	その前にあったかな、30、
0:14:06	3 ページとか、
0:14:08	にあると思うんですけど、これは単純にこう、もうちょっとこう位置的に、
0:14:13	一応ちょっと違いますよとか、大きさがちょっと違いますよみたいなところがあるんですけど。
0:14:19	やっぱり 35 ページは、ちょっと明らかに、1ヶ所と 2ヶ所っていう、
0:14:24	も違って、当然ながら 202ヶ所にするとその差、先ほどご説明あったようにですね 40 ページとか、こっちのがやっぱり再現性がいいですよということもいえると思うので、
0:14:35	ちょっとそこは、
0:14:36	今の 35 ページの表現は少し違うかなと思うんですけど。
0:14:41	そこって、どう、どうですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:52	はい。中部電力の森です。ご指摘の通り、
0:14:57	いずれも痕跡再現モデル検討した上で実施していると仮定は一緒なんですけども土木学会のモデルと検討は5°Cを比べたときに、スプレッド1が、
0:15:07	一つなのか二つなのかというのは大きな違いになりますので少し、
0:15:12	今の35ページと33ページのところの、記載のトーンを少し変えさせていただいた方がいいかなというふうに思いました。
0:15:22	で、
0:15:32	はい、衛藤。
0:15:35	金関野再現性の観点からとかで少し言葉を出していただく必要があるかなというふうに思います。はい。以上です。
0:15:44	はい規制庁昨日わかりました基本というのが一番大きなところ1ヶ所から2ヶ所というところなので、そこは、
0:15:53	少しですね、何かこう、33ページとか、あとはちょっと、
0:15:59	意味合いが少し違いますよっていうのわかるようにお願いします。あとちょっと関連。
0:16:05	してなんですけど、もうこれ以前からご説明がある部分なんですけど、32ページで、結局、内閣府2012頭、農業委員会2016名、何が違うのっていうのが実は、
0:16:18	よくわからないって言ったならあれなんですけど、設定方法は異なると真ん中で赤字の矢印あるんですけど、それはもう明らかに違うのでわかるんですけど、これって、結局その土木学会が、
0:16:32	オリジナルとして、
0:16:35	こういうことをやったのかどうかっていう話なんですけど多分そうじゃなくって、
0:16:40	一番上の設定方法は同じというよりも、土木学会のこの一番上のこの挙手的な部分というのは、内閣府2012に基づいて設定をされていて、
0:16:51	逆に言うと微視的なものは、これスギノが2014。
0:16:55	これに基づいて設定をされているという多分、そういう元の何て言うんですかね、オリジナルとなるようなもの。
0:17:04	せ、
0:17:05	てが違うというところだと思うんで、何か全部トータルで考え、
0:17:12	ペーパーに土木学会2016、
0:17:15	としてのオリジナルモデルっていう形になると思いますけど、
0:17:19	もともとのその、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:21	何を根拠にこう設定しているかっていうと、
0:17:24	内閣 2012 だったり、杉野ほか 2014 なので、ちょっとそこは、
0:17:30	わかるような形で書いていただければなと思うんですけど。
0:17:34	よろしいですかね。
0:17:46	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通り土木学会の方が、内閣府後に出ておりますので、内閣府を根拠にして、挙手的パラメータのところは内閣府、
0:17:56	を根拠にしているところで、自主的パラメーターの方は杉野ほか 2013 を
0:18:04	根拠というか、そこそこを踏まえて設定しているというような設定になっております。で、ちょっとその辺りは、それぞれの県、
0:18:15	そうですね、内閣府の説明のページと部下の説明のページそれぞれにはあると思うんですけども今のページでも、何を根拠にした方が何を根拠してるかと。
0:18:24	というのがわかるように、土木、特に土木学会についてわかるようにというご指摘でよろしかったでしょうか。はい規制庁サグチその通りですね。だから 33 ページと同じような形です。ですね、矢印のこれ運営に係る下に学科の違いっていうのはあるかもしれないんですけど、
0:18:40	上の例えば設定方法同じとして、下、下にその内閣 2012 の設定方法適用とか、とかそういうような、何かこの部分は、内閣 2012 だよとか、このまま次の課題だとかっていうのがちゃんとわかるような形で、
0:18:54	して示してくださいっていうことですのでよろしくお願いします。
0:19:01	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。今の記載の下の方に少し追記させていただく形で、情報を追加させていただきたいと思います。以上です。
0:19:22	はい、じゃあ今説明があったところについては、そのようにお願いします。
0:19:28	続いてはですね今回今説明があったり新しく計算をし直した部分ではないんですけども、コメント回答でいうとコメント回答の 1、同じ日本海溝の手法、
0:19:42	用いたモデルとの比較のところ、
0:19:47	例えば 17 ページなんですけど、
0:19:50	この 17 ページの方ではその日本海溝の手法を用いたモデルとの比較以前に、そもそも土木、内閣府 2012 の最大クラスのモデルとかですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:00	土木学会のモデルと 2016 のモデルと、検討波源モデル A B C との差分というんですかねどこがどう違うのかっていうのがまとめられていて、
0:20:10	一方でこのコメント回答の趣旨はその日本海溝の手法と、
0:20:16	検討波源モデル A C D ですね、B はで代表させるんで弾きますけれども、これとの比較をするというところが目的なんですけど、18 ページの方に行くんですけど、
0:20:29	これ右側のところは、例えばその点線箱かっこいいですよ。
0:20:34	これ日本海溝で検討された Mw9 クラスの津波評価を用いて設定したモデルなんです。ぐらいい書いてあって、
0:20:41	下の方に行くと、当然ながら日本海溝の手法を、南海トラフに持ってくるので、断層面積だとか剛性率なんかこれは南海トラフの知見を反映します全く同じ数字を使いますと。
0:20:54	いうぐらいの説明はあるんですけども、ちょっと何か先ほども土木学会との比較とかですね、何内閣府 2011 の比較のところでは、
0:21:05	考え方なりその曲的パラメータはどうだ、微視的パラメータがどうだっていう比較がぱっとあってどこに差があるのか、考え方に差があるのかっていうのはわかるんですけど、ちょっと日本海溝の津波、考え方ですね、
0:21:19	方とは、なかなかパッと見てですねしか考え方が比較できるものがなくて、19 になると、ページになるとこれ多分 1、1 ページにかける分量もあるんだと思うんですけど、
0:21:30	何か日本海溝の方の、
0:21:32	パラメーターがポツと書いてあってですね、これは剛性率やその面積なんかは、当然検討アンドモデルと一緒にいうマイページで宣言はしてるんですけど、
0:21:42	次の 20 ページに行くんですけど、ここでは図示するような形で、長層を滑りとかですね、滑り域のパーセンテージだとか、何倍設定するんだっていうところは書いてあって、
0:21:55	考え方として大きくは違いがありませんとあるんですけど、次に行くと、最大滑り量のだったり平均滑り量とかですね滑り分布、
0:22:05	さらに 22 ページに行くと地殻変動のところこういう、
0:22:08	差はありますそちらとしては差はあるんだけどもおおよそ同じぐらいだというご説明なんですけど。
0:22:15	何かこう後ろに行くと、差が出てくるんですけど、前の方へ行くと何でその差が出るのかっていうのがわかりにくくなっててですね、これ、コ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	メント回答で、議論になる、説明いただいて質問してっていう会合で議論になる部分なので、
0:22:30	ちょっとなぜこういう差が出るのかってというのがわかるようにですね。
0:22:33	先ほども参照しているのは、土木学会と内閣府の最大クラスのところ で、土木学会オリジナルでなくてここは内閣府と持ってきて、同じもの を持ってきたから一緒だとか、
0:22:45	土木学会おりじゃなくて次の他を持ってきたから、違うんだとかって いう比較の話ありましたけど、もっとこのなぜ、
0:22:52	どこが一緒でどこが違って、いやその一緒なのは当然ながら参照して いる、論文なり考え方が一緒だから同じなのか、内閣府のデータを、断層 面積とかですね、
0:23:04	構成率を持ってきたから一緒なのかとか、いやここはこういう考え方に 違いがあるからここは差が出てるんだとか、後で比較をするですね滑り 分布とか、
0:23:14	滑り量とか地殻変動とかですね、この差が何によって生じているのか ってというのがちょっとわかるようにしていただきたいかなとこれを資料 1 に挟むような形になると思うんですけども。
0:23:26	その点をお願いしたいかなと思ってます。
0:23:29	何ていうか原因がよくわからないんだけど、わからないというか多分、 説明を聞いていて、何度も聞いている我々はある程度当然理解してるん ですけど、なぜ違いが生じていいかわからないんだけど、
0:23:41	1-数字の比較が出てきて、おおよそ同じぐらいですっていう流れにな ってしまうので、この辺わかりやすくしていただきたいかなというの が、1 点目です。
0:23:56	どうでしょう、いかがですか。わかりました。
0:24:00	はい。中部電力の盛です。
0:24:03	今、ご指摘いただいた 17 ページで
0:24:08	内閣府土木学会と我々が設定した DC の違いというのをちょっとまとめ させていただいて、ここの項目 123 の項目は、
0:24:19	各検討波源の設定のところでもこのプロセスで設定しているというところ を集約したような形になってます。
0:24:27	次のページに行った時 18 ページに行った時の検討波源モデル A C D と 日本海溝モデルの①②③、もう、各フロー三輪。
0:24:37	ページついてますので、10、
0:24:40	7 ページのフローの集約版というか、窓、このイメージで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:46	同じように、
0:24:48	違うところ、同じところというのを整理させていただく。
0:24:53	のがまず、必要かなというふうに思いました。それぞれ考え方まで書き出すと、多分情報量がかなり多くなってしまうのでまず違い。
0:25:03	と同じところというのを見る化させていただいて、その上で違いは、
0:25:09	こっちが書けるかな。そうですね。ちょっと日本海溝モデル我々のモデルではないのでどういう考え方でというのはちょっと難しいところありますけれども、違いと同じところというのを見るさせていただくことができるかなというふうに思います。
0:25:20	と、あと 19 ページも、今、日本海溝モデルのパラメーターだけ載せてますけれどもこちらも
0:25:27	左側に同じように検討波源を載せることはもちろんできますので、このように対応させていただくことでどうかなというふうに、今お話聞いた限りでは、考えております。
0:25:36	はい。
0:25:36	どちらが良いかっていうのは別にしてですね、この浅部のところで、滑り乗せとか滑りの設定とかその面積の設定とかですね。
0:25:49	多分この町を滑り域の設定の仕方とかその部分は考え方一緒だと思うんですけど、やはりその海溝軸に近いところで、滑り設定しない部分ですよ。
0:26:00	この辺りの扱いの差があるんじゃないかなとは思ってるので、
0:26:04	そういうあんまり情報量を多くすると、見づらくなってどこで違いがあってどこ、いうのがわかりにくくなるのでおっしゃるように、端的にわかるようにですね、ここに違いがあるんだってのがわかるような資料にしていただければいいかなと。
0:26:19	ます。
0:26:21	なんかさ差分を 1 個 1 個突き詰めてですねちくちくと議論するっていうものではないので、当然ながら、日本海溝側で作ってるものと南海トラフで作ったものは内閣府 2012 土木学会とか参照して作ってるものと、
0:26:34	間違いがあってしかるべきなので、その違いの部分がわかるようにさえしていただければいいかなと。
0:26:39	思います。
0:26:41	コメント回答の 1 の部分でいうと、もう 1 点あってこれは、本質というよりも念のため
0:26:52	計算をしましたというもので、一応これは

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:59	24 ページ以降かな、一応概略パラメータスタディと同様のものをやってみましたというのが、24 ページ以降から、
0:27:10	あってですね、2829 で、
0:27:15	検討波源モデルの
0:27:18	概略パラメータスタディですね同じライズタイム 150 秒当時は海上系のものの比較という形で、例えば 28 ページだと水位上昇側、敷地前面であれば、
0:27:31	検討波源モデル A の基準断層モデル 1-1、
0:27:35	取水槽であれば、検討波源モデル T 段基準断層モデル 3-2 の、
0:27:41	ものとの対比という形で、
0:27:46	載せてはいるんですけども、一応こういうページでご説明したい趣旨というのは、一応概略パラメータスタディに相当することはやってみたけれども、
0:27:58	日本海溝の津波表。
0:28:00	手法のモデル、123 ですね。
0:28:04	ちょっとライズタイム 60 はとりあえずの年、さらに念のためやってみたものなんで除くとして、
0:28:09	この概略パラメータスタディもどきですよね同等のものをやったものが、これは本筋の検討波源モデルの概略パラメータスタディをやったもの、これよりも小さく、
0:28:22	なっていてと。
0:28:24	検討は、仮に会議ってのは変ですねこれ。
0:28:28	その分、概略パラメータスタディをやった結果残るようなレベルのものではなくてはるかに小さいんですけど、説明なんだと思うんですけど。
0:28:37	これ今比較対象で出されている検討波源モデル A とか D の結果っていうのは、例えばその、
0:28:44	検討波源モデル A で、基準、基準断層モデルとして残したものを、
0:28:51	あると思うんですけど、その中でこれ一番大きいものと比較してますかね。それとも、
0:28:56	この一番小さいっていうか、
0:28:59	検討ぎりぎり基準断層モデルとして残したっていうか、そういうものとの比較の方が、
0:29:07	検討波源モデルに、との比較という意味では、妥当なんじゃないかなと思うんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:14	あと全部載せると、検討波源モデルAからDのですね、ものだけで、1ページ丸々使ってしまうので、全部載せると比較しづらいんだと思うんですけど。
0:29:24	今の政令の一番、検討波源モデルのAやBの中で一番大きいものと比較するのか、
0:29:33	一番大きいものとか一番小さいものも残して、いやぎりぎり、基準断層モデルとして残したものの、それよりもさらに当然小さいんですけどっていう説明をしたいのか、ちょっとそのあたり、どういう説明したいのかなという。
0:29:45	イメージをお聞きしてからですね、またした方がいいのか、最大のものを残した方がいいのか、だけで比較した方がいいのかっていうのを、
0:29:54	考えを、コメントしようかなと思ったんですけど、あと、検討波源モデルCですね、当然これ、概略パラスタで落ちてるんですけど、
0:30:03	これ日本海溝の手法、等の比較では検討波源モデルCも扱って、
0:30:09	いるはずなんですけど、それとの比較結果が載ってないのは何でかなっていうのは、それが2点目ですね。
0:30:17	その点はいかがですか。
0:30:20	え。
0:30:22	はい。中部電力の盛です。1点目も2点目も、同じだと思うんですけども、28ページ19ページ載せてるのは今鈴木さんおっしゃる通り、概略パラメータスタディで最も大きいモデル。
0:30:34	を代表して載せていると。それよりは小さい、明らかに小さいというのがわかるようにしております。で、
0:30:40	概略パラメータスタディの結果、当然本編資料にも載っているんですけども、コメント回答だったら51ページの方に、
0:30:50	再掲という形で載せているものもございます。
0:30:59	当然見ていただいていると思いますけれども、
0:31:03	水位上昇が下降側での概略パラメータスタディの結果の一覧というのがこちらになってまして、
0:31:10	1点目の方ですね、
0:31:13	基準断層モデル1-1から1-5-1から3-3-1から2-4-1ということで、基準断層モデルとしてたくさん選んでるという中で、
0:31:21	その中で一番大きいものと小さいものと、
0:31:25	いうのは当然ありますけれども、いずれもそんなに変わるものではないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:32	今の比較、
0:31:35	でも事足りているのかなという判断で先ほど一番大きいものだけ経営させていただいたというのが今の考えでございます。で、Cについてもこちら載せてますけれども基準断層モデルとしても選ばれないと。
0:31:47	で、B I b IIというようなものもやってますけれども、小さかったということで先ほどのところではちょっと表の紙面の都合もありますし、基準断層モデルして選ぶ選ばないというところも、観点が一番重要かなということで、
0:32:03	最も、それぞれの評価地点において最も大きいものということで上昇が下降がそれぞれ載っているというものです。で、ちょっと紐付けは書かせていただいておりますけれども、
0:32:14	どのようにさせていただくのが説明性がいいかということを考えさせていただきたいと思います。
0:32:21	もし、
0:32:22	ちょっと今のところでは違うんじゃないかというところあればご指摘いただければと思います。
0:32:28	はい。1点目は確かにほぼほぼ数字が一緒なので、改めて羅列をし、全部羅列をしてですね、
0:32:36	するよりは、一つ、ほぼほぼ同じものなので一つだけ、基準断層モデルのうち一番大きいものですね。
0:32:44	載せとけば事足りるんでしょうというところはわかりました。
0:32:47	ちょっと検討波源モデルC、これが日本海溝のモデルの①ですよ。
0:32:54	これと比較対象になっていたんで、ちょっとそれが28とかですねこの辺に載っていないというのももちろん、当然質疑になれば、先ほど言ったようなコメント回答の51ページの数字を使いながらご説明されるんだと思うんですけど、
0:33:10	わざわざ別のページに飛ぶ飛んで説明するくらいだったら、初めから載せておいた方が、だらどうですかと。
0:33:17	ということです。絶対載せなさいと言うつもりはないんですけど、
0:33:23	式のとくに、わざわざページ飛んで説明するようになるくらいだったら、載せておいたらどうですかというのは、後者のモデルCの方ですね。
0:33:32	モデルCも個別に全部載せる必要もないと思いますけど、全部じゃないかな。ごめんなさい、モデルCは、
0:33:39	どれが乗るかというと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:41	1個ですよこれ当然1ヶ所なんで、
0:33:48	そうですね。
0:33:50	個別にモデルCはわざわざ後ろに飛ばして、それは51ページ載っておりますのでそこと比較するみて、ページを飛びながらめくりながら見ていただくのととかっていう説明するぐらいなら、初めから直しておいたらどうですかというそういうことであります。
0:34:07	29ページも同じなのかな今度はこれ多分水位下降側で一番長いものを載せているんですけど、
0:34:14	これモデルDも一応その、
0:34:16	日本海溝のモデル新居さんとの関係で比較で使っていたわけなんで、別に基準断層モデルとして選ばれないからといって、
0:34:26	わざわざまた後ろのページめくってですね、説明するよりは、初めからA、C、D、
0:34:33	当然落ちて落ちたものは当然白抜ですけど、
0:34:36	載せておいたらどうですかと。
0:34:39	備考欄にむしろあれかもしれませんね。
0:34:42	備考は同じいいのかな。基準基準断層モデルとして選ばれてないっていうのはいろんな白抜きで、
0:34:48	わかるんだというのはそれでも結構ですし、基準断層モデルとして選ばれていないっていうのを備考欄に書き出してもらっても結構ですけど。
0:35:00	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。CDを比較対象としてますので、それぞれ三つはこちらのページにも載せようかなと思います。以上です。
0:35:14	はい。すいません。よろしくお願いします。コメント回答1の関係で少し資料に中身は別資料に工夫をしてもらいたいかなというのは、
0:35:24	そんなところですね。他もしそのコメント回答1の関係で、
0:35:30	何かあれば、
0:35:31	なければちょっとコメント回答の、
0:35:35	新居さんの方にちょっと行こうかなと思いますけど、
0:35:55	よろしいですか。コメント回答の新居さんの方ですね。
0:36:00	これ本当に単なるエリートリアルな部分なんですけど、
0:36:04	見せ方なんですかね例えばこの50、
0:36:09	3ページとかですね。
0:36:11	見ると、
0:36:13	これ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:15	例えば基準断層モデル1のシリーズはこれ敷地前面様の評価ですと、モデルDの基準断層モデル3シリーズはこれ取水槽側ですっていうのがあって、
0:36:27	一応二つ前のページの50ページですね、一応これ概略パラスターをやりました。やった結果、水位上昇側の敷地前面①敷地前面は、
0:36:38	これは基準断層モデル1シリーズです。で、取水層は、基準断層モデル3シリーズですと言ってから、詳細パラスタに行くような説明になっていて、
0:36:47	他方その後ろのページにいくと、基準断層モデル1シリーズも、この取水槽側に赤ハッチングがかかったりしてですね。
0:36:55	当然、
0:36:57	何度も聞いている我々は、取水槽に意味がないというのはわかってるんですけど、
0:37:03	ここはどこに着目してどこの数字を見ればいいんだというのがわかるようにですね。
0:37:09	これも基準断層モデル1シリーズの取水槽側、
0:37:13	これは白抜きでいいんじゃないですかと。
0:37:16	というような
0:37:19	その注目すべきところのみ、赤発注したらどうですかっていう単にこれ、
0:37:24	工夫上の問題なんですけど、
0:37:27	てのは1点目。
0:37:29	2点目が、
0:37:31	57ページが、例えばなんですけど、
0:37:35	これ、左下の、
0:37:38	注釈です赤字。
0:37:41	着目する評価地点における最大値は赤字にしてますとあって、この右側の方にいくと4号取水塔の最大値の13.5ですねこれ赤字になってんですけど、
0:37:53	シャン3号取水塔の方を黒字で、
0:37:57	3号取水塔の中で一番大きいのも、一番上の13.5だと思うんですけど、これ片方だけ赤字に、4号の方だけ赤字にしてるのっていうのは、
0:38:07	この赤字で、3号4号の中で分、
0:38:11	トータルで一番大きいものに赤字をしてるっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:14	そういう趣旨なんでしたっけちょっとこの赤字片方だけにしてるのは何でかなって言ったら素朴な、
0:38:19	質問なんですけど。
0:38:22	すいませんちょっと今2点ですかね。前者と後者、ちょっとまずこの2点いかがですか。
0:38:28	中部電力加藤ですけれども、まず、2点目の方のこの赤字にしているところですけども、
0:38:34	事実としましてこの57ページですとか、あとその二つ後のページの59ページにつきましては、本体資料からの
0:38:45	ババする抜粋といいますか本体、本体資料に書いてあるページをそのまま、コメント回答資料に持ってきております。本体資料の方ご覧いただきたいんですけども、
0:38:55	ページ番号で言いますと、
0:39:05	えっと187ページお願いいたします。
0:39:13	1188ページですね。
0:39:15	こちらはですね融け基準断層モデル、2-3シリーズの詳細パラスタの結果が載っているところですけども、こちらは185ページから、
0:39:26	188ページにかけて、それぞれライズタイム、60秒から180秒までのライズタイムの不確かさと破壊伝播速度を介して、不確かさ考慮結果を載せております。
0:39:39	ここで赤字で示しているケースというのが、この破壊伝播速度買い替えて不確かさの考慮の中で、着目している所、評価地点、3号取水棟4号取水棟における最大値を示しております、
0:39:53	あと3号取水撮りまし言いますと、186ページに示しております、破壊伝播速度1.0赤井ハシ、P湾の13.6分が、
0:40:03	具体例となりまして、これに勝る評価、評価結果というのが他のライズタイムの、
0:40:10	結果ではないということで、188ページの方ご覧いただきますと、
0:40:15	こちらのライズタイム150秒の結果になるんですけども、こちら見ていただきますと、3号取水塔の絵と、右側にありますけども、
0:40:26	破壊伝播速度破壊開始の出し方
0:40:28	これは、13.5分が最大となっております、先ほどの186ページと比べますと、13.6分になってるものはありませんので赤字にしているものは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:39	ないということになります。この188ページを、コメント該当資料の57ページに、そのまま転記しておりますので、57ページは3号取水塔のところか、
0:40:49	赤字になっていないと、というようなこと形になります。
0:40:52	ですのでこのコメント回答資料の57ページと58ページにつきましてははこの赤字にしている衛藤乾三輪特にございませんので、57ページ59ページの、
0:41:04	この赤字につきましては黒字にさしていただきたいというふうに考えております。
0:41:10	まずこちらの点は、よろしいでしょうか。
0:41:14	すいません。ありがとうございました。
0:41:18	それは何か。
0:41:20	うん。本件と違う書き方にしてしまうとむしろ良くないですねえ。ちょっと待ってくださいね。
0:41:28	今田からコメント回答で抜粋しているのが
0:41:34	水位下降は基準断層モデル2-3-0。
0:41:39	前回説明57ページは前回説明なんで、これはわかりました。しょうがないですよ。
0:41:46	いいでしょうか。なるほど。この部分だけを比較してるからなの。ふうん。
0:41:54	なので本編で言うと186ページも載せようとする等、またややこしくなるわけですねこれ57ページは、
0:42:02	これ前回説明だから前回説明のそれに相当するものはない、ないのかな。
0:42:07	あるのかな。
0:42:11	でも前回の57ページとこれ前回の説明ですよ。だから前回の説明のところでも3号取水塔が2、
0:42:19	何だろう、赤文字が。
0:42:22	示される、
0:42:24	ものがあったわけですかね。であったわけであったんですよ。
0:42:29	あんまりだからそこは気にしないって言ったこのままほっておいた方がむしろいいのかな。わかりにくいけど、しょうがないかな。
0:42:38	その時にはだから本編でこういうことになってるんですけどっていう、説明をいただくしかないわけですね、あまり本編と違う書きぶりになると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:46	それはそれで整合性の問題が出てしまうので、あわせて原因はわかりました。
0:42:52	1点目の方すみませんジェットどうですかね。
0:42:56	すいません中部電力の盛です。
0:42:58	今の点59ページもこちらコメント回答用ということなので上の箱がキーとかもですね本編とはちょっと違ってまして、こういう考え方で拡大して検討したっていうなことも書かさせていただいてるので、ちょっと誤解を
0:43:13	生んで赤字じゃないのかなと、ちょっと確かに私もあの本編を見て、コメント回答を見てちょっとわかったというところもあって、
0:43:22	あまりこのコメント回答に必要なないところで赤字にする必要はないのかなというふうに
0:43:27	個人的には思っておりますので
0:43:30	よろしければ黒にさしていただいた方が、説明上、こちらもありがたいかなというふうに思っております。
0:43:39	はい。わかりましたそちらの方で、本編とそのコメント回答資料ですね、今後も
0:43:44	取りまとめ資料とか作る時に、入れ違いにならないのであれば、そうしていただいて結構です。
0:43:53	はい。すいません1点目の方の、50、
0:43:57	2ページ53ページのこの赤ハッチングはハッチングを、すべてすべての評価地点備考まで含めて塗っているとどこに着目すべきかはわかりづらいということで、コメントに対してですけれども、
0:44:09	こちらの5253ページ。
0:44:12	につきましてはこの
0:44:16	例えば51ページご覧いただきたいんですけども、
0:44:19	51ページのところにこの青、赤は違うハッチングのところですけども、
0:44:25	こちら評価地点における最大上昇水位が大きく、基準断層モデルとして選定することとしたケース。
0:44:32	ですとか水位低下時間を大きく基準断層モデルとして選定することとしたケースということで、これ以外のページにつきましても、基本的な基準断層モデルとして選んだケース。
0:44:43	ということですので

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:45	は、赤もしくは青でハッチングしました上で、赤字につきましては、このすべての 51 ページにつきましては、すべての概略パラスタ結果の中で最大値及び、
0:44:57	それと同程度の値ということで着目すべきところを、51 ページの赤で示しております。52 ページ 53 ページにつきましては、こちら
0:45:07	黒い色の太字で基準断層モデルごとに影響が大きく着目した評価地点ということで、どこに着目すべきかというところを囲って、
0:45:17	いるところで一応着目すべきところは強調する、しているつもりでございました。
0:45:22	切れておりましたので、
0:45:25	このような、51 ページですね、51 ページのところにつきましても、同様に
0:45:32	黒字で、着目すべきところをコカ・コーラとして強調するような形で修正したいと考えております。
0:45:40	以上でございます。
0:45:44	はい。2 多様な意味でいうと例えば、これは前回か、73 は前回なんで、
0:45:51	今回の 74 ページですよこれ。
0:45:54	一応取水槽のところに黄色くハッチングをかけた上で、
0:46:00	右側のところで止水層のところに、加茂城、
0:46:04	つけてはいるんですけど、
0:46:06	何か振って、何で敷地前面の数字でぼぼい法というか意味がない数字になるはずなので、
0:46:11	ここはあまり意味なくていいのであれば、もはやグリーン数字は載せて、6 たままにするんであったとしてもグレーにしてしまうとかですね。
0:46:21	ちょっとどの数字を見なきゃいけないのかっていうのはパッと見て分かるように工夫してくださいとそういう趣旨なので、
0:46:29	少し何度も中身を知っている人同士で詳細に知っている者同士で見ると、あまり気にならないのかもしれませんが、ちょっと所見殺しというか、所見者の
0:46:40	人にわかりにくかったこれ数字見なきゃいけないんだってこの数字やるんだってっていうのがあったので、そこら辺の工夫なので、これちょっと時間の範囲内で結構ですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:50	全体見てみてですね、どの数字を見ればいい、この数字は見なくていいこの数字は比較しなきゃいけないんだっていうところがわかるようにしてくださいってそれだけの話であります。
0:47:00	で、あとはですね、
0:47:07	うん。
0:47:08	なんでつい下降側の話じゃなくてこれもパラスター全体の話で、70ページかな。
0:47:15	前回のヒアリング資料から少し直していただいて、作業としてはシンプルにわかりやすく書いていただいているかなと思うんですけど。
0:47:23	これ
0:47:25	(1) (2) (3) で (3) では計画しますとってここはある意味その基準断層モデル同じ基準断層モデルの中での比較の話が書いてあって、
0:47:37	下にはその全体評価の中でなので、基準断層モデルごとに、選定した代表ケース、場合によって複数ケース選ばれますけど、
0:47:48	その中から一番今度は
0:47:51	波源としての代表を選びますと。
0:47:54	ということで同じようなことをやりますというのは書いてあるんですけど、
0:47:59	コメント回答資料の中でいくとその基準断層モデルの中の、例えば時刻歴は系の比較っていうのを、75 ページに、
0:48:08	書いてあってですね。
0:48:10	そのあとに出てくるのは、最後の一番最後の結果ですよね基準断層。
0:48:18	モデル同士の比較というんですか。
0:48:20	一番最後の四角の
0:48:23	ところは、特に、
0:48:25	こうやって比較しましたっていうのがなくてですね、おそらく本編に飛んでいって見ていくと、何か比較してるんだらうなというのは、何となくはわかるんですけど。
0:48:37	基準断層モデル間の比較、最後の代表を選ぶときにもこうやって同じようなことをやってるんです。
0:48:46	ていうのは、
0:48:47	1例でも結構ですし分かるようにしたいいただきたいかなと思うんです。実はその、
0:48:53	プレート間地震の評価結果をまとめた79ページ、負債がこうなりましたとって、その次の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:01	ページをいくとですね、今後は形とかも出てはいるんですけど、その最後基準断層モデル同士の代表ケース同士で比較して同じようなことをちゃんとやってますっていうのが、
0:49:12	コメント回答資料の中から読み取れなくてですね、多分聞くと、いや本編の方をご覧くださいとかってそういう形になるかと思うので、
0:49:20	手順としてやり方書いてあるんだったら、それを実行した例みたいな形で、簡単に1枚ぐらい足した方がいいんじゃないですかというのが、
0:49:29	コメント回答の関係でいうと1点最後1点。
0:49:36	はい。中部電力の加藤ですけど。
0:49:38	この76ページのところで各基準断層モデル、
0:49:44	選定するものの音結果載せておりましたので、その次のページのところには計の比較ということで、
0:49:53	追加したいと思いますけれども本編、本体資料の200、
0:49:58	22ページから、
0:50:00	220
0:50:02	4ページに掛けてですけども、それぞれ、基準の阿蘇モリ1-1から1-5の8Kと、加古川として2-1-スギノ1から2-3-4-1の、
0:50:14	形で224に、3-1から3-3の絵は形をすべて比較を載せておりますので、こちらコメント回答資料の76ページ以降のところに、最近するような形で、
0:50:27	結果とはっきりそれぞれ見ているということを資料、資料でとして示したいと思っております。
0:50:33	以上です。
0:50:35	はい。これはあれですね最後の結論に繋がる部分なんで3ページ丸々上昇側取水す下降側と、
0:50:44	すべて丸々載せるっていうことですかね。
0:50:48	敷地前面はもはや1ポイントが1ヶ所なので、2度を比較することはないんでしょうけど、
0:50:55	はい。2土肥告訴、一応あれですね、この
0:51:00	1-1から1のここで、
0:51:03	基準断層モデル。
0:51:04	の1から2-三、四日これで全部載ってるのかな、基準ですので参加。
0:51:10	これで結論に行くんですかね。
0:51:13	ちょっと待ってください。
0:51:15	基準断層モデル1シリーズ3シリーズ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:19	2 シリーズ、
0:51:22	4、
0:51:23	4 は乗らない。
0:51:26	基準断層モデルはそうですね。はい。
0:51:29	上昇側と下降側と、上昇側の、取水層ですねこの3ページをそのまま載せる。
0:51:35	全く同じものを載せるってということですかね。ここで、
0:51:41	この三つで足りるということかな。なぜこれでやってますって説明かな。
0:51:46	わかりましたじゃこれをコメント回答に持たすということですねそのまま。わかりました。鵜飼です。
0:51:56	はい。中銀の加藤です。はい。そのように修正させていただきたいと思えます。
0:52:06	はい。すいません、ちょっと思ったより時間をすいませんかけて確認してしまってるんですけど。
0:52:12	あとはその全体的な話で、概略パラスタと詳細パラスタで見る滑り域の位置の不確かさとかですねライズタイム破壊開始段階伝播速度、
0:52:23	これ一実はフワッと説明上はですね、
0:52:26	概略プラスの時には敷地への影響は支配的である滑りの不確かさをM I M A S 東側に振り回すとかですね、詳細パラスタの方も、津波評価に与える影響の大きさを考えてライズタイムと。
0:52:39	破壊開始点破壊伝播速度の順番でやりますっていうのをあらかじめ書いていてですね。
0:52:44	確かに結果としてですね、影響分析をしてみると、
0:52:52	支配的なのは、
0:52:55	結果としてですね滑り域の位置を動かしたのが一番影響を大きくて次がライズタイムで、ちょっと取水槽の中にあるとライズタイムと破壊伝播速度破壊開始点の、
0:53:05	順というのはほぼ同じだったりもするんですけど、
0:53:08	結果の影響分析をしてみると確かに、手順通りで正しかったですねというのはいえるんですけど、
0:53:15	結構あらかじめ
0:53:17	こういうものを不確かさとして見るべきでこういうものが支配的なんだとか影響が大きいんだって書いてあるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:24	確かに、やる前からそうですねっていうのはどこで説明しているのかなというところを見ると、
0:53:30	あまりふわっと国内外の巨大地震津波の発生事例を踏まえてやりましたっていうのは、ぐらいしか書いてなくてですね。
0:53:37	そこの根拠ってどこにあるのかなっていうのがちょっとわかりにくかったんですけど、これはどこ補足説明とかいろんなところを飛んで見ていくと、火元けるもんなんですかそれとも本当に結果論で書いているのか。
0:53:49	或いは、一般的にこういうところでこういう手順があるので、それに参照にしましたのか、ちょっとここはですね、
0:53:59	結果からすると正しいからあまり気にはしてなかったんですけど、
0:54:03	入口からロジックを見ていくと、確認したくなったもんですから、
0:54:13	はい、中部電力の盛です。
0:54:17	まず我々の今考えてる考え方ですけども、6ページのところで概略パラメータスタディを詰め力の位置を振るというのは、
0:54:27	津波評価技術、
0:54:29	何かを見たときにもこういうふうになっていると、基本的には津波評価上、
0:54:34	敷地への影響を古木の位置が大きいというようなこともあるのでこれをまずやっているというのは、各社同じかと思います。少し今支配的であるっていうふうにちょっと断定的に書いてあるところが
0:54:46	書き足りないところかなと思いますので少し修正させていただきたいと思います。
0:54:50	で、もう1点詳細パラメータスタディのところも、まずライズタイムで次に破壊伝播改善パラメータスタディを行ったところの、
0:54:59	ところですけども、津波評価に与える影響の大きさを考慮してというところが、どこを根拠に行っているのかというところのご指摘かなというふうに思います。この点も、
0:55:10	これまで我々、ライズタイムの影響検討というところで、破壊開始で破壊伝播速度についてはあまり考察しておりませんが、滑り量、
0:55:20	同じく、フェイスタイムってのは津波評価に与える影響が支配的だというようなところを説明させてきていただいていますので、
0:55:30	少し
0:55:32	読んだときにわかるように少し言葉を出させていただくということが必要かなというふうに思っております。以上です。はい、わかりましたん

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	でちょっと少しまとめ資料を作り込んでいく作業のことも意識して申し上げているので、
0:55:47	そこら辺ですね紐づけがわかるように、
0:55:50	あらかじめこういう仮定のもととかこういう根拠のもとでパラスタ-をやって、影響分析をしたら、やっぱり南海トラフの、この評価についても、
0:56:01	そうでしたという、そういう流れになるようにですね、まとめ資料を作っていく過程では工夫してくださいというものです今回はドラスティックにですね、いきなりコメント回答の中に、
0:56:12	突如としてですね、ポンとページを割いて入ってくるっていうのもおかしな話になるので、ちょっとまとめ資料を作るっていう意味で申し上げました。
0:56:23	一応、
0:56:25	今回の説明資料の中でですね。
0:56:28	気になった点っていうのは以上になります。
0:56:32	他、コメント回答の中で、
0:56:35	確認しておく点ございますがサブとしてはほとんど変わってはいないんですけど、
0:56:41	規制庁佐口ですけども、今ちょっとその6ページのお話があったので私ちょっとどうかなと思ったんですけど大局的に見たらそうなのかもしれないんですけども特に詳細パラスタと順番の話ですよ。
0:56:56	ただやっぱり今回の結果っていうのは、水位の下降側っていうのは、必ずしもそうじゃなくて、
0:57:03	ねえ。
0:57:06	正直言うと、明らかに影響が大きいのは、滑り域の位置でこれはもう確実ですよ。上昇側でもここがでも、でも、ライズタイムと破壊伝播速度と破壊回線というのは、
0:57:19	多分今回の結果を踏まえると、
0:57:21	上昇側については、明らかにこれライズタイムの影響を聞いているっていうことがあると思うんですけど。
0:57:28	結局、
0:57:30	何ページでしたっけ、50ページとかの、ナンバー2のコメント回答のところにも書いてありますけど、
0:57:37	実は花崗岩については、そんなに、
0:57:40	影響の度合いが明らかにこっちが大きくてこっちが小さいよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:45	とまでは言えないみたいな。
0:57:46	そういう結局結果だったのかなと思うんですけど、そうすると今ここに書かれてるのはあくまでも水位上昇側っていうことであって、
0:57:56	下降側では、ちょっと違うんですけどでも大局的に見ればそうなのかなっていうそういう、私はイメージではいるんですけど、先ほど鈴木さんからともと、どういうその影響なんかも、
0:58:10	こう言われていたりなんかもした部分もあるので、こういう順番でやりますっていうのはあるのかもしれないんですけど、ちょっと今回の結果として、結果がわずか0.1、
0:58:22	分、
0:58:23	であったとしても、結果として分け、結局その前回までの、
0:58:28	結果から変わっているのちょっとここは少しですね、
0:58:32	書き方っていうのは少し工夫が必要かなというふうには感じてますけれども、その辺りってどうのようにお考えですかね。
0:58:46	はい。中部電力の森です。今の点、ここ方針を何ですかね結果を見ながらPDCAをまわしてる部分ですのでちょっとどう書かさせていただくのがいいかなというところはあるかと思います。で、
0:58:59	今詳細パラメータスタディと書かさせていただいてるのは、詳細パラメータですね、1ポツ目のところですね、先ほど読まさせていただくその際のところですけども、
0:59:08	津波評価特にこれ津波評価というか、津波水位ですね、津波水位のほうに与える影響という意味Dとライズタイムの影響が大きいということは、分析させていただいてましたので、その観点からライズタイムというのをまず振っていて、
0:59:22	次に破壊伝播速度破壊開始点のパラメータスタディをやらさして、水位上昇側も下降側もまずはやらさせていただいたと。
0:59:29	で、今回そのコメント回答で追加に、
0:59:32	なった方針ということでまたということで、1回やった結果としてのパラメータ線妥当性の確認というのを踏まえて、下降側についてはさらに、
0:59:42	同じぐらいD値が小さいということから、その組み合わせをもう少しもらって、網羅的な組み合わせのパラメータスタディも追加させていただいたというふうに、
0:59:53	結果を見て再度方針をさ、もう少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:58	組み、網羅的にやり直したというような書き方で記載させていただいております。
1:00:12	はい。規制庁佐口です。基本的に大局的にはこうなだけどというのは当然我々もわかっていますので、その辺をどう見るかですよね。
1:00:22	当然ながらそのいろいろやっていくうちに、ひょっとしたらこっちの方が影響が大きいのかもとかっていうのもあるのかもしれないんですけど、影響の度合いとしては多分、
1:00:34	同程度ってというのは多分、そう、それはその通りだと思いますけども、明らかにその大きさの順番で、例えば本当に並べたときに、今のこの並べ方で、
1:00:45	全部が網羅していえるかっていうそういう話ですので、そこは明らかに大きいのは例えば滑り地の位置とか、ライズタイムですよそれはあくまでも上昇側として、
1:00:56	盛さんから水位という話があったんですけど、当然ながら水位上昇側も下降側も当然ありますので、そういった意味で、数字の増分と言いつつも、
1:01:08	今おっしゃってることはあくまでもやっぱり上昇側のみに着目したものであって、逆に言うと、下降側にも着目して、これは確実にいえるということがあれば当然書いていただいて、
1:01:21	いいと思いますけど、そう。そうじゃないのを何か、言ってしまえばちょっと書きすぎてる部分もあるんじゃないかなってそういうふうに私は感じたので、
1:01:32	少しコメントだけさしていただきましたけど、大局的にはこういった順番でやっていけばいいのかなってというのは、わかりましたのでそこはちょっと、
1:01:43	可能でしたらちょっと工夫はしていただきたいと思います。
1:01:50	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。先ほど鈴木さんからご指摘いただいた根拠ですねえと、どういう観点からこの順番でやったのかというやり方の
1:02:01	ところの考え方をもう少ししっかり書かさせていただくということが必要かなというふうに思いました。プロセスとしてはこういう順番でやって、さらに、
1:02:12	今回コメント回答として、もっと組み合わせのパラメータスタディも実施したというところジツウだというふうに思っていますので、そこは少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	やってることが書き過ぎていないかという観点で、点検させていただきながら記載をもう少し、
1:02:26	よりよくさしていただきたいと思います。以上です。
1:02:32	はい、じゃあよろしくお願いします。
1:02:35	の説明資料の関係で言うと以上で、
1:02:39	ちょっと少し先取りになってしまうんですけど1点だけ、中村さんどうぞ。はい。
1:02:48	すみません今、質疑がや質疑でやりとりされたところに関連して、
1:02:57	何でそのコメント回答No.2のところで、
1:03:01	水位下降側だけ、今回、パラメータスタディのケースが大分増えたというか、何でここまでやったのかということに関して、
1:03:12	すごく、資料を読んでいくと、何でかっていうのが、最後まで読まないといけない。
1:03:19	例えば58ページ。
1:03:23	58ページのところの一方という、上の四角書きの三つ目の四角のところ
	に多分理由が書いてあるんですけど、
1:03:31	ここまで読んで、やっぱりそうだよねと。
1:03:35	こここういうことだよねっていう理由がここに書いてあるんですけどこれが、この58ページまで読まないと出てこないの、
1:03:43	何かここら辺がですね、何でそこまでやったのって疑問を持たれるよりも早めに何か説明してしまった方がいいんじゃないかなというふうに、
	すみません私自身はちょっと思いました。
1:03:56	いかがでしょうか。
1:04:02	はい、中部電力の盛です。なぜやったのかということで6ページのところでNo.2 コメント回答に関連ということで、
1:04:11	簡単には同程度で違いが小さいことなどからということで記載をさしていただけてます。で、3ポツ目のところで3ポツ目、3ポツ目で
1:04:23	ちょっと太字にしますパラメータスタディの因子の影響分析からということで、
1:04:29	滑り域の位置、ライズタイム破壊伝播速度は買い替えしてN順に小さくなる、ちょっとなどというふうにまとめてしまってますけど上昇側この順番小さくなっていると。下降側については、赤いライズタイムと破壊伝播速度破壊開始点が同じぐらいだということで、
1:04:45	この妥当性確認を踏まえて上の方の点線で打たせていただいた水位下降側の方は、同じぐらいだったので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:54	組み合わせのパラメータサーベイを追加して、させていただいたというところでちょっと文字数の制限がある中でちょっと表現させていただいたつもりなんですけれども、
1:05:04	もう少し書かさせていただく必要があるということ。
1:05:08	なら、この3ポツ目のところですね、と所側と加古川を切り分けて、もう少し詳しく書かせていただくということは、できるかなというふうに思います。
1:05:19	いかがでしょうか。
1:05:21	ナグラです。等って書いてるところでおそらく、ここの最後のところで言われてるような内容が含まれるような書き方になってるんだらうなっていうのは、
1:05:33	文章上を何回か読んでればわかるんですけど、
1:05:37	等についているところの理由だけ、
1:05:41	メーカー、明確になって理由だけでは何でそこまでやるのって、
1:05:45	ていうふうにちょっと見えてしまっていたので、そういう意味で少し、
1:05:50	書き方を工夫した方がいいのかなという気はちょっとしました。
1:05:54	以上です。
1:05:57	中部電力天野でございます。名倉さんのおっしゃることよくわかりまして58ページだとやっぱり、万が一にもその逆転するかもしれないっていう。
1:06:07	本質的な理由記載してるんですけど、前の方は小さいことを踏まえてってだ小さいから何影響を、同じぐらいだからっていう、
1:06:17	ちょっとわかりにくい表現になってるんで少しそのあたり、明確に理由は読めるように短い言葉でも判断できるような、
1:06:27	記載工夫いたします。
1:06:33	ナグラです可能な範囲で構いませんよろしく申し上げます以上です。
1:06:42	はい。
1:06:43	ありがとうございます。他よろしければ、一応説明資料の関係で言うと、以上になりまして、ただちょっとプレート間の方、ほぼ終息食う論点としては終息に向かいつつあるので、
1:06:57	ちょっと先取りにもなるかもしれないんですがいずれにしても、後々ですね、規制庁のホームページに載ってる資料なんで、少しご覧いただいた上でまとめ資料の作り込みをする際にですね考えておいてもらいたいという趣旨で申し上げるんですけど。
1:07:12	一応その、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:13	プラントと違って、齋藤理事なるなところもあって、確率的には作りずらいものではあるので全サイト作ってはないんですけど、
1:07:22	最近だとS I M M E Rちょっとプレート間ないんであれなんですけど島根2号とかですね少し前だとプレート間があるものは女川とかですね、審査のまとめ取りまとめ、確認事項だったかな。最後の語尾が、
1:07:35	そういうような資料を我々としても審査記録という形で、後のために残して置いてですね。
1:07:42	女川だとちょうど少しテクニクな違いがあるんで、全く同じ通りにはないんですけど、少し参考になるような、
1:07:52	こういうガイドとの関係でいうと、標準的な確認ポイントですよ。こういうものだというのが載ってますので、少しそういうのも3趣向にしながらですねまとめ資料を、
1:08:03	作る作業ってのは次のステップのものは、考えておいていただきたいという趣旨で、その上で、今のうちに3点確認をさせてもらいたいんですけども。
1:08:13	既往、後ですいませんホームページ載ってるものなんで資料の方はご覧ください。一応プレート間のところの項目というのは、一番最初に、
1:08:23	プレート間地震による津波のですね発生要因として、四つというか三つなんですけど、三つプラス組み合わせという意味なんですけど、
1:08:32	強い揺れと大きな爪が発生する地震生成する地震で一つが、次が、2番目が分岐断層ですよ。同時に、
1:08:41	活動する地震であとはゆっくりした滑り滑りの津波地震。
1:08:46	ということでさらに、その同時発生と、
1:08:51	いうのを考慮していることを、標準的な確認項目に挙げていて、
1:08:56	確かに女川との違いがあってですね女川の場合は実際に津波地震があるので、津波地震単独のモデルを作った上で、に東北地方太平洋沖型地震による、
1:09:10	津波という両方のものも見ていますっていう構成なんですけど。
1:09:15	江藤には、東光なんか御社と同じかな、多分わざわざ津波地震、専用モデルみたいなものは特には作ってはいないかなと思ってまして、
1:09:26	この辺りですね当然、南海トラフの何で女川そもそも過去のプレート間の、東北の方で起こったプレート間津波のものを、
1:09:38	津波地震とそうではない地震等切り分けてですね、表にして、こういう津波をパターンの津波を見ますって説明してるんですけど、こちらの場合おそらく南海トラフの方なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:51	津波地震がなかったので、特にそういう書きっぷりはしてないんだと思うんですけど。
1:09:56	これ、その津波時に専用モデルを作っていない理由としてはですね後から合流した皆ので申し訳ないんで説明いただきたいんですけど、そもそも津波地震が起こって、
1:10:08	いないということと、あとは
1:10:12	松波地震との同時発生は結局、どのモデルでも見る形になっているので、は、津波地震専用のモデル、女川だと結構滑り角とかですね。
1:10:24	傾斜角の何か不確かさみたいな津波地震専用モデルを作ってやってるんですけど、それと同じことをやっていないのは、
1:10:33	もともとそういう地震が起こってないという津波が起こった記録がないということと、
1:10:38	あとは不開講軸まで滑りを考慮してですね、固着の違いとかいろいろあるんだと思うんですけど、
1:10:46	あそこは東北地方太平洋沖型地震で全体で見ますと、
1:10:50	ということなのかちょっとそこら辺のですね、
1:10:56	本社側の、少し女川っていうかあの辺りの津波地震が実際起こってるところとの違い。
1:11:02	ていうのがクリアになるような割り振りにしてもらいたいかっていうのが、
1:11:07	この辺りは、すいません今ある程度想像で申し上げたんですけど、
1:11:12	その津波地震専用モデルっていうんですかね。女川逆に言うと女川のところはそういう事例があったから作ってるんだと思ってるんですが、
1:11:20	そこら辺の考えていうのはどうなんですかね。ちょっとすみません今回のコメント回答の会合と少しちょっと外れる話なんですけど、
1:11:34	はい、中部電力の盛さん。
1:11:36	我々は今鈴木さんのご理解の通りだと思っております、
1:11:41	例えば、
1:11:43	ちょっと、ちょっと今回配布してないんですけども、前、例えば補足説明資料なん。
1:11:49	何かもしお手元に、
1:11:51	立派。
1:11:54	補足説明の全体版ですかね。です。はい。なければちょっと口頭で簡単にご説明します。紙ではあれですけど、多分電子では補足説明資料って全体版なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:08	当然我々持ってますから、
1:12:10	何ページとかって言っていたら、あと、すみませんありがとうございます。例えば、補足の6-1、349ページ。
1:12:19	ご確認いただきたいんですけども、
1:12:24	はいはいはい。この宝永地震と安政南海とか載ってるやつですね。はい。はい。はい。ありがとうございます。
1:12:33	明確な津波地震ってのが起こっていないということもありますし、南海トラフ東方航空みたいな
1:12:40	領域区分がしっかりしているというよりは、南海トラフの領域の中でのいろんな地震が、基本的には全域が破壊するんですけどいろんな地震が起こっているという中で、
1:12:51	松波自身ももうの領域も含めて、どういうモデルが考えられるのかという中で、
1:12:58	基本的にはその助、黄色で書いてあるような、スケーリングの観点から、企業地震津波の津波な作業を包絡するような、最大クラスの
1:13:08	津波断層域というのを考慮しておくことによって、検討としては代表できるというような考え方でおります。衛藤スズキさん先ほどおっしゃられた通り、
1:13:18	3.11の地震も、我々が今考えてる最大クラスの地震も、通常の地震と、
1:13:24	津波、地震、いわゆる津波地震の領域が同時に破壊した地震になっておりますので、この地震をメインで考えておくことによって津波評価としては、
1:13:36	検討が代表できるというのが、我々としての考えでございます。
1:13:47	はい。少しちょっと作りこいう考えで作っていった結果わざわざそういう、
1:13:53	何か特別なものは、にはならなかったってそれだけの話ですかね。ちょっと資料全体、補足説明とかも含めて見ていくと、
1:14:04	確かに津波地震なかったよねっていう話で、落ち着くんですけど、わかりましたすみませんちょっとここは何かわざわざ別に、津波地震専用のものを作らないとっていうかそもそも、
1:14:14	含まれたものを作ってる時点でカバーできているので、
1:14:18	ぜひ、津波を作らなかった理由みたいなものを何か資料にまとめてっていう趣旨ではないので、
1:14:24	わかりました。
1:14:26	でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:27	電話ですねあとはハゲンモデルに設定に必要な調査とかこれは補足説明も含めて、
1:14:35	長々と載ってますし、
1:14:37	はげ設定のところ実は、当たり前のことがほぼ書いてあるんですけど、
1:14:44	波源域の設定のところですねガイド上だと
1:14:48	断層幅が飽和するように、地震発生期の下限から海溝軸まで震源域になってますかということで、これは確かに当然海溝軸側までを成長を滑りを滑り域を持ってきていて、
1:15:02	深さの方は地震発生域、大体3分の1までだったかな、深さ40キロぐらいのところまでの、
1:15:09	ものをカバーしてますということで、ばいいんですけど2点目のところが、
1:15:14	同じその地震発生期の下限深さどこまでにするかっていうところd地震によるその地殻変動をですね、上下変動を考慮して、施設の敷地における津波の影響は、
1:15:26	最大になるような、下限の深さ設定してますかという点があつてですね、女川の場合は割とわかりやすかったのかもしれないんですけど、日本海溝の場合は、
1:15:37	コアの施設の敷地の辺りって均衡する人口側の極値ぐらいの位置になってるので、あそこの影になってますっていうたまたまなのかもしれないんですけど、
1:15:48	従ってその下限の沈降量を考慮して能勢鎮目側施設として沈む側の方が、上昇側には厳しいので、そこを考慮してますよ。そこが下限域になってますっていう。
1:16:00	そういう確認結果になっていてですね。ただ、玉岡の場合はおそらく補足説明資料の何ていうか、
1:16:10	前提の考え方のところで、
1:16:12	いわゆるその条件ですよ評価地点をここにしますとかそういう条件説明のところで、水位上昇側の時には地殻変動の上昇は考慮しませんで、代わりに沈降するんだったら人工は考慮しますみたいな、
1:16:27	ざっくりとしたその方針は書かれているんですけど、
1:16:30	実際に、
1:16:33	波源域の深さの設定をするときに、今ここでガイドで言ってるようなですね、地殻変動の説明が、
1:16:42	あつた上で、確かに

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:45	波源域は港南ここでいいんだという説明があるのかというと、ちょっとそこが見当たらずでですねこの辺の考え方はどうなのかなっていうのを確認したかった次第です。
1:16:54	他の場合は、基本的にプレート間の場合は全部情シ地殻変動としてはプラスになるけれども、
1:17:01	基本方針が上敷地が隆起する場合は考慮しないってということなんで、
1:17:08	ここは今、
1:17:11	一応、
1:17:12	確認はしてるんですね一応地震発生期の下限を決める際に、
1:17:17	ちょっとそこが資料上読み取れないかなと、別のところと組み合わせて読むと、地殻変動の話は、今回コメント回答にもあるような、
1:17:24	東北、
1:17:27	日本海溝の手法との比較はそこでも地殻変動の図が載っていて、いうものを見るとほとんどその敷地の場所っていうのは、
1:17:35	上昇隆起する傾向にあってただその隆起量は考慮せずに評価するんで、
1:17:41	その分は保守的になりますっていう、そういうことだと思うんですけど。
1:17:45	何か震源域を下限域を設定するところで、その説明がなかったかなという趣旨で確認をする次第です。
1:17:55	はい。中部電力の盛です。先ほどと同じ補足説明資料の1ページ後の348ページを電子で見ただけであればと思うんですけども、
1:18:08	あ、すみませんもう一度ページよろしいですか。100340、348ページです。はい、次のページ。はい。はい。
1:18:18	女川との大きな違いというかですねその敷地とトラフ軸との位置関係という意味では、
1:18:24	浜岡サイトトラフ軸から50キロぐらいで、日本海溝側の方はトラフ軸が200キロぐらいということで、
1:18:33	地形的地、地理的な関係から、基本的には浜岡上昇プレート間地震の上昇域にあるということです。過去の地震でも1メートル隆起したりとかということがありますので、基本的に
1:18:47	プレート間地震が起こった時に、敷地が沈降するということは位置関係的にはないのかなというふうに考えています。で、その上でどこまで下限を見るかということなんですけれども、評価上は、
1:18:59	先ほど鈴木さんおっしゃられた通りで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:02	上昇はすべてキャンセルするという評価の中で、波源を基本的には大きくした方が、津波、SBOが大きくなりますので、津波評価上津波の影響の観点という意味では下限を、
1:19:15	一番大きくとっておいた方が、評価上は影響が大きくなるというふうに考えております。
1:19:20	で、その中でここに変えさせていただいているように新聞のところは、内閣府に基づきまして、て深部低周波地震が発生してる領域というところで、
1:19:31	地震が発生時、
1:19:34	低周波の地震なので通常の時はちょっと異なるんですけどもぎりぎり地震が発生してると。で、そこで下限は、するする滑りば地震も発生しない領域だということ、その下限のところまで取っているということ、
1:19:47	最も影響が大きいところまでは元気を寄付するという観点で、検討できているというふうに考えております。
1:19:57	はい、わかりました。なのでちょっとですね波源域を設定するようところで、玉岡のサイトのところの地殻変動がどうなっていてそれはどうい津波評価上どういう扱いにしてるんだというのを、
1:20:12	まとめ資料作る作業の時にですよね。
1:20:15	そこにも書いておいてもらいたいかない趣旨での値のための確認がありました。
1:20:21	同じところで言うと、これも、
1:20:25	その領域、セグメントを設定してるみたいなもの一応ガイド上はあるんですけど、こういうものだから南海トラフの場合、あんまりそのセグメントっていう概念がないのかな。
1:20:37	セグメント、剛性率を異なる組み合わせるっていうのも、多分そういうのもあり、該当しませんということだと思うんですけど。
1:20:48	あと、同じ項目でいうと確かに最大滑りが海溝付近に設定されてることってのはもうこれ図面を見れば、自明なので、
1:20:56	この辺は特に多いでしょう。分岐断層の記載もあって、これもうサイトによってはその分岐断層が明確でないところは、モデルの中に包絡させますという、二次分岐断層、
1:21:09	崩落させますという言い方をしているところもありますけど、浜岡の場合はモデルDがあるので、Bがあるので、それで見えますっていうことかなと思いますし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:18	他のページでいくとあと不確かさのところですね、
1:21:22	当間、これは、
1:21:25	浅井ともうわざわざこういう区分にはしないんですけど、いわゆる認識論的不確かさとその分けしてるかとかっていうですね、そういうのも多分やり方手順のやり方として、
1:21:37	そういうやり方はやってないけれどもという、
1:21:41	ことだと思んですけど別に今から、偶然的な不確かさと認識論的不確かさに分類し直して説明しなさいというところまでの説明と変わってくるんで、それを求めるわけじゃないんですけど。
1:21:52	一応なんで、ここも多分先ほどその各二つ、不確かさがですね、津波評価に与える影響って大きいものをちゃんと不確かさとして見ていますよというのは、
1:22:02	先ほど来今回の説明資料の中でも、コメントしましたけれども、
1:22:07	いやこういう理由でこういう不確かさを見てるんですっていうのがクリアになるような資料にしてもらいたいかなど。
1:22:13	てます。ライズタイムの不確かさを見るのが、科学的にはちょっと、うん。気首をひねりたくなるけれども、そこは保守的に言いますっていう説明は結構資料上出てくるんですけど。
1:22:25	他の破壊開始点とか破壊伝播速度とかガイドでいうと、これプレート間に限らない記載なんで、結構いろんなこと書いてあるんですけど、断層の位置長さ、
1:22:37	幅、走向傾斜あまりプレート間にしてみると、
1:22:41	不確かさが生じないような部分もありますけれども、滑り量滑り角滑り分布、破壊開始点破壊伝播速度等という形で、少し例示する形で書いてあるんですけど、
1:22:53	こういう根拠でこういう不確かさを見たんですっていうのは、最後見る不確かさに変なものがあるとかで伝えないものがあるっていうつもりはもちろんこれまでながら議論してるんでないんですけど、
1:23:06	最後、まとめ資料を作っている会ですね、こういう知見があってこういう考え方があるので、こういう不確かさを見た。
1:23:15	こういう幅で見た、例えば破壊伝播速度のどの幅で見るとかですね。
1:23:20	買い替えして何工区だとかライズタイムをどの幅で見るとかっていうのはこれは当然いろんな知見をもとに幅も設定してますし、そもそも不確かさとして見るべきか見なくていいのかっていうのは、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:31	いろんな知見をもとに透かし化され選んでるはずなので、そこら辺わかるようにしてもらいたいかなっていうので、
1:23:37	そういうのがあってですね、
1:23:40	少しまとめ資料を作っていくときにはですね、
1:23:43	少し先行の作り込みの仕方とか、
1:23:47	いわゆる標準的な確認ポイントを押さえているかとか、そういう
1:23:52	そういう点をですね、考えて今後まとめ資料を作っていく時に工夫してくださいという趣旨で、すみません、せっかくだったのでヒアリングの折に紹介をさせていただきました。
1:24:03	この辺は別に次の会合に向けてっていうことではないので、少し蛇足になりましたけれども、以上になります。
1:24:13	以上ほかになれば、ヒアリングの方ですね次の会合に向けて資料の方で少し工夫してもらいたい点というところは以上になりますけれども、
1:24:24	作業的に言うと2、3人日ぐらいでどうかなと思う、いうレベルで申し上げたつもりなんですけど。
1:24:32	辺は特に新しく何ていうかデータを取ったりっていうものではないので、
1:24:38	対応の方は可能でしょうか。今
1:24:41	まとめ資料の時についていうふうに申し上げたところは外していただいてですね、ちょっと会合で議論するにあたってということで前半申し上げたところは、
1:24:50	ここは可能ですかね。
1:24:52	はい。中部電力浜野でございます。もちろん可能でして、
1:24:57	もう明日ぐらいには仕上げたいと思っております。点検もしてございます。もう1回眺めた上で、しっかり整理して、
1:25:08	提出できるように対応いたします。
1:25:19	はいちょっとコメント回答の方直すと本編の方も同じようなページがあったなとか似たようなページがあったなんていうのあるかと思いたすのでちょっとそこら辺はすみません。
1:25:28	注意深く確認はいただいた上であとは先ほど冒頭の、少しあれですかね、
1:25:35	前氏そうするとたまたまその資料の、ちょっと一文字消し忘れだとか単位が消し忘れだとか、ちょっと細かい修正してる時に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:45	うっかりみたいのがあるといけないので、資料の方は、見ていただいて、作業としては1日今日1日2日ぐらいでできそうだったのはわかりましたんで、
1:25:54	まだ標準的な
1:25:56	9月のイメージで会合に向けた作業できそうですね、わかりました。
1:26:03	おこなければ以上で終了したいと思いますそちらから何か表ヒアリングで確認しておきたい点ありますか。
1:26:15	ジム電力アマノです。1枚出すっていう話を最初冒頭にいただいて、
1:26:22	18から19に行くところでモリから、19ページは、
1:26:29	そのCDと123を並べてデータをわかるようにするっていうのと、
1:26:35	その繋ぎ2、
1:26:37	CDと日本海溝123がどう違うか。
1:26:42	要は簡単に言うと、どの点が違ってるかっていうところなんですけど、
1:26:47	あんまり、
1:26:48	同じように表でと、たくさん書くと、ポイントがぼけちゃうかなと思ってるのでなるべく情報量少ないように、端的にこういうところが違うよと。
1:26:59	いう話を書き込んだ上で、19ページの結果数字はこういうふうな差になります要は数字が違う、変わる根拠はこういうもんで結果としてはこうですっていうのが、
1:27:11	わかるようなイメージでおりますけど、そんなんで、感じでいいですかねちょっと文字数増えるとまた何が何だかわからなくなるなっていう気がしている。
1:27:22	ところで、イメージが、
1:27:24	合ってるかどうか教えてください。
1:27:28	はい。おそらく19ページの剛性率モーメント面積とか、どこってほぼもう、
1:27:36	できてるだけなので、
1:27:38	モーメントは少し変わっちゃうのかな、面積とかですね
1:27:43	そんな
1:27:45	何かありとあらゆるパラメーターなりをこう並べると確かにゴチャットするので、むしろ違うところが、
1:27:53	わかりづらくてそっくりそのまま持ってきましたっていうところは、あっさり書いていただくとかですね。
1:27:59	その辺はあれかな。今18ページだと、断層面積剛性率、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:05	ていうのは、
1:28:07	そうですね。
1:28:09	南海トラフの知見を反映したって言うので、ただ 19 ページのいやこれはだから前のページで言う、
1:28:16	断層面積剛性率等の頭に入るようなものっていうのは、
1:28:20	わざわざ
1:28:23	検討波源モデル A、C D と、
1:28:26	比較して並べなくてもいいのかもしれないですけどね、ゴチャットするなら、
1:28:30	何でどこが違ってどういうところに違いがあるのかそれがひいては、多少なりともこの滑り量だったり滑り分布だったり、地殻変動に影響を与えたのにはねるのかっていう、そこだけわかれば良いっていう趣旨なので、
1:28:47	詳細にすべて比較してくださいとかですね今だと土木学会の手法とか、南海トラフの最大、
1:28:56	何か内閣府の最大モデルケースの違いとかですねなんかモーメント変化分の調整方法とあって、結構詳しい説明は、これまで過去に
1:29:07	説明を求めて追加された部分ではあるんですけど、こういうようなものまで深掘りして、比較して欲しいということではなくて、
1:29:15	後で出てくる地殻変動量とか、滑り分布とかの違いは何によって生じてるんですかそこだけわかればいいので、
1:29:24	企画に使えるそうす。
1:29:27	違いがわかる部分比較つつ、違いの原因になる部分ですねそこがわかるようにさえしてくれればいいので、
1:29:34	そこら辺は何を載せるか、わかりにくいものまで載せるとゴチャットするなら、そこは工夫してくださいっていうことなんですけど。
1:29:45	はい。中部電力の盛です。
1:29:48	今イメージしてるのは 19 ページもそうなんですけど 17 ページの設定の方法、麻生です。
1:29:57	はい。
1:29:57	今ここは土木学会内閣府と検討波源モデルの比較ですけども、検討波源モデルと日本海溝モデルの設定方法の違いというのを、
1:30:08	これぐらいの情報量で作らせていただくのがいいか、同じところはちょっと削らせていただいて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:14	間違いだけのところだけに、1モデル増えますので、横がちょっと、はい。
1:30:25	違いだけにクローズアップした方がいいのか同じところと違うところというのを見えるようにさせていただいた方がいいのかちょっとどちらがよろしいかということ、もし今の時点での感触ございましたら、
1:30:36	そしてそれがADC1枠増えるわけですね、その分だけ小さくなりますと。
1:30:44	ただ、逆に言うと、
1:30:48	上、上の枠が、前の18ページで大きな説明はしてるので、
1:30:56	17ページで言うところの層相か上の箱書きとかですかね。
1:31:01	比較検討はメモ出るわみたいなのこの辺はいらなくなるんだけど、やっぱり横幅が結構辛くなりますかね。
1:31:11	挙手的、
1:31:14	挙手適震源特性の設定って何か違いに、
1:31:19	違いがあるのかな、指摘。
1:31:21	滑り量、ここは
1:31:24	4倍か3枚か。
1:31:27	での違いで、長大隅。
1:31:30	むしろ、
1:31:32	ここ、今17ページにあるような、全く同じ
1:31:36	なんて項目。
1:31:37	妥当。
1:31:39	後の話に繋がりますかね、繋がるのかなあ。
1:31:44	敦賀湾内とか、地震モーメント変化分の調整とか遷移領域、
1:31:52	分量としてはこのぐらいの分量でいいんですけど、何かここにある17ページの項目で比較すると、後の説明に繋がるんですけど、
1:32:02	17ページの通りに作ってくださいとは申し上げなかったんですけど。
1:32:09	はい。中部電力の盛です。3ポツ目のところ、少し項目は変えさせていただいて良いのであれば、
1:32:16	長谷川内を見ているとか、いうのは、すべて同じですし、超滑り域の位置も、
1:32:22	再現モデルを踏まえて設定しているというところも同じですので、同じようなところは少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:29	省かせて、下の方に何か枠外に書くとか、少し分量を減らす工夫させていただければと思います。
1:32:36	各波源モデルの設定についてはこの 123 のこの項目の順番で設定しておりますので、そこは紐づけをできるように、この構成でつくればできるようにはなっております。
1:32:47	わかりました 1 ポツ 2 ポツ 3 ポツっていう、大きなところは 1 種、一章とかその比較するときに残して、
1:32:56	ただもう完全に検討ハブモデルと同じものを引っ張ってきてるところは、ちょっと省略した書き方にするってことですね。はい。
1:33:03	わかりました。
1:33:06	はい。できるだけシンプルに、文字を小さくならないように工夫させていただきたいと思っております。以上です。
1:33:16	はい。
1:33:16	了解です。すいませんちょっと 1 枚にまとめるとなかなか苦しい文字数にはなりますけどよろしくお願いします。
1:33:33	よろしければ以上で終了したいと思います。お疲れ様でした。はい。
1:33:38	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。